

綏遠家文半月刊

年九十年民華中
日一十三月五
號四十第



遺囑

全致力國民革命凡四十年其目的在求中國之自由平等積四十年之經驗深知欲達到此目的必須喚起民衆及聯合世界上以平等待我之民族共同奮鬥現在革命尚未成功凡我同志務須依照全所尊建國方略建國大綱于民主義及第一次全國代表大會宣言繼續努力以求貫徹最近主張開國民會議及廢除不平等條約尤須於最短期間提其實現是所至囑

講 話

勸各盟王公士庶要澈底覺悟

李培基

國內戰事早有具體辦法解決就在目前黨務方面自汪精衛氏北上後則更稱融洽由現在觀之黨政大有鎔爲一爐之象國人皆抱有喜色大概各盟旗亦不能不作斯想稍可顧慮的就是赤俄南侵孜孜日進其浸闊之力由外蒙直逼內蒙自從庫倫七月中旬大會議後形勢更覺緊張意在利用國內戰事時期乘機活動此次活動的方策各盟旗知道底細的頗不乏人幸尙能明大義不爲所動但是各王公也有在平旅居的也有在旗充耳不聞的本區連遭荒旱邊民流離赤俄邪說最易動聽湘贛共匪之起都是由小而大如其事後捕滅何若期前防備在這種各盟旗交通不便消息隔閡之下更難以周顧的省府固有一種相當辦法要在各盟旗相輔而行纔能收效這種相輔而行的裏面一不在金錢二不在兵力這唯一的所在就是各盟旗王公士庶各個人的「心理」這心理二字若能拿得定真是金錢不能動威武不能屈況且是赤化那更不能潛入的這亦化之毒簡而言之就是不合於民生問題社會問題國家問題以及世界問題所以纔惹起世界各先進國的反感一律的拒絕使牠不能在東西兩大陸上有所施展牠本身亦感覺到銳進不能成功纔轉過風舵向這地曠人稀智識薄弱的外蒙入手注射其麻醉性的藥液現在說已竟有八分成功了又由外蒙想到內蒙這真是千鈞一髮爲災爲祥頃刻的關係各旗王公士庶不可不澈底覺悟呵要知道自己是何等地位考我中華民國乃是五大民族組織所成的這蒙族爲五族中一大民族在五權憲法上是一律平等的

這五族的休戚榮辱蒙族亦有密切關係現在外蒙被侵已成五族莫大之恥其嗾使的赤俄當然是我們五大民族公共的讐敵由民族關係方面說應當一致努力消滅其毒燄恢復其侵地驅逐其出境方不愧為朔方健兒的面目倘或不是之圖一味聽其蠱惑棄明附暗認賊作父那時登堂入室一掩而空後悔何極外蒙王公因財產大受赤俄限制現在思漢不得一念昔日內附之優真乃慟哭流涕蒙古歷史頗有光榮蒙古區域頗有來歷蒙古民族頗稱偉大歷代以來也都是優予相容至今爵秩隆重襲封無窮倘或不知溯本追源誤入歧途不但是爵秩不保財產難存恐怕內蒙全境都變成赤色想要洗磨也是難掉的了五族平等的蒙古成了碧眼兒的黑奴數千年相襲的尊榮一旦打破生命財產都付於流水只好任人宰割任人支配成了燎原之火縱想撲滅也就不易了如其事後受害何若事前自保想要自保就得澈底覺悟由這覺悟纔能知道向背向背一明是非自判是非一判當然外邪難入希望各旗王公士商要深深的省察呀。（完）

要聞

尼伯爾忽中止內犯

（因我國派員調查真像
彼即實行其狡詐手段）

尼伯爾侵藏事件各方殊為注意昨據私人方面接得拉薩電訊南京外交部曾於一星期前電令駐印總領事派員赴藏調查真像詐尼人之背景異常狡詐現正當中國特派員調查之際忽中止進兵內犯惟西藏當局及各團體對於尼人過去內犯經過曾有具體紀錄特派員之調查當係根據此種紀錄云

赤色帝國主義者壓迫旅蒙商民

實空前未有之浩劫
希望國人設法救濟

北平特訊北平某機關昨接庫倫商會來書報告外蒙商業及赤色帝國主義者壓迫之狀況至爲詳盡茲錄其大要如次 概自外蒙失守旅蒙華商橫遭赤俄殘暴早已不堪其苦近更變本加厲日趨險惡華商在外蒙所有財產牲畜等悉被封鎖不准出境並且多方暴斂以遂其排除淨盡之心華商在外蒙境內因不堪受其苛捐重稅無力負担近已迭有呈報歇業者而蒙古官廳對該商等聲言如報歇業將來遠東銀行復業不准匯兌即華蒙政府有相當之解決時亦不能再行營業又有商號因特別捐稅之款無法籌措央請蒙官廳可否以貨作價抵補捐款而該蒙官廳竟不稍加原諒認爲有意違抗即將該商所有貨物全數沒收勒令該商出境其一種殘暴苛虐情形實有不忍聞者至該蒙古官廳對於一般華商所定之苛捐重稅實世界各國所未有茲特誌之於下（一）絲織品烟類化裝品值百抽三十（二）皮革類磁木器類值百抽十（三）銅錫鐵糖知値百抽十六棉織紙張及一切粗笨貨物值百抽六出境皮貨細毛類值百抽三十粗毛類值百抽十五此外報稅聯單費每張洋一元零伍分稅局過秤捐每百觔三分稅局看護費每百觔每日一角二分出入稅局門件捐每件伍角稅局折色費每件一角轉運局車費每百觔一元四角護照每人一張期限一年者照費八十元附加警捐伍元旅行路照每人一張期限一月照費九元薪金捐商號執事每年一百二十元夥友每年三十元營業捐照分八等特等不限人數多寡每年九千元頭等不限人數每年四千五百元二等二等不限人數每年二千五百元三等限十二人每年一千五百元四限八人每年一千元五等限六人每年五百元六等限四人每年二百五十元七等限二人每年一百五十元

（未完）

日人在滿蒙侵略大槩

鐵路設備
開闢鑛山
海運港灣
地方事業

據交通界調查日本最近在滿蒙方面侵畧佈置情形如下（鐵路設備）一，營業里數爲六九四英里八分二，車站數目爲一一四站三，車頭庫數有一處四，客車庫數有三處五，辦理倉庫的站數除大連外有三二站六，車頭四三二輛七，客車四四五輛八，貨車六八一一輛（海運港灣）關於海運有大連汽船公司航行大連芝罘青島上海香港等航路並與上海日青汽船公司相提携與長江主要商埠相聯絡關於港灣過去建設大連稱最良港灣最近又組織滿洲船舶公司（開闢鑛山）一，撫順之煤礦二，烟台之支礦三，油母頁岩四，鞍山製鐵所亦經成立（地方事業）一，屬於滿鐵的土地有一千四百七十九萬二千八百餘畝二，屬於滿鐵的房屋有五百七十五棟三，對於教育積極設施以資文化侵略四，警備方面至爲注意五，設立農事試驗場及試作場六，設地質調查所且彼日人對於其勢力範圍內可開闢之利源均由當地僑民隨時報告該國政府並馬上進行不稍延緩其侵畧手段之敏捷於此可見云

蒙事

內蒙黨代表相繼抵平與白雲梯接洽黨務

某方消息內蒙各盟旗黨務代表繼續來平及留平蒙藏民衆籌備歡迎二屆委員白雲梯等已誌報端茲聞察有十二旗黨務代表馮煥庭卓照兩盟代表業已到平又綏遠青海呼倫貝爾各處代表亦起程繼續來平

尚白氏接洽一切云云

俄人煽惑外蒙獨立華人所遭之慘禍

查民九之役俄人謝米諾夫乘直皖爭戰邊防空虛之際煽惑外蒙活佛哲布尊丹巴獨立進兵庫倫蒙人起而響應我邊防軍始則奮勇拒敵終被內外夾攻不能抵禦紛紛潰退其時華人如鳥獸散跟隨高在田軍隊南歸之農工商民行至烏蘭哈登地方被俄蒙軍殘殺一萬七千餘人之衆白骨累累赤血盈盈其由恰克圖繞道烏金斯克逃難返國之華人雪地冰天凍餓而死屍橫遍野而飽受艱險漏網脫籠未至殞命者行至滿洲里地方俱各形容憔悴面無人色矣至於庫倫附近東營子地方不及逃避之華人竟被屠殺三千七百餘人事後責成商會用大車載屍拋棄附近瓦窯之內而桑貝子河旗之華商被驅在木板房內由周圍窗戶開槍射擊死而後已事後卽傳該處附近未死之華人到板房內背負屍身棄於荒郊負屍之人亦被槍決更有最慘酷者將華人衣服剝去以刀將腸子剜出繫於樹上然後拖人遠走腸未盡而命已絕如此種非刑不勝枚舉其各處財產貨物被搶劫沒收者爲數已屬不賚矣迨民國十年蘇俄紅軍藉驅逐謝米諾夫爲名入據庫倫種種之侵畧較曰俄尤爲狠毒倡言扶助弱小民族陽假親善之名陰行赤化之實其時蒙古各機關皆聘俄人爲顧問凡一切發號施令完全操於顧問之手蒙古官吏不過蘇俄政策之傀儡耳

蒙藏學校經費有着

校長張景濤請願 閣總司令准予維持

蒙藏學校經費本由南京撥匯每月五千餘元前次發生問題久未匯平該校校長張景濤努力奔走又經前校長張氏向閩總司令請願閩氏素重教育尤提倡蒙藏教育遂令河北財政特派員公署每月撥發該校經

費四千元以資維持校長張景濤一方感謝閻總司令維持蒙藏教育之熱誠一方設法節省一切費用故該校尙可維持至於擴充計畫須俟下學年經費稍裕後再行實現云

公牘

綏遠省政府主席李

爲照復事頃准 貴盟長咨稱近來時有匪徒乘隙搶劫所有自白靈廟起至烏蘭和碩止往來行商隨時派保安隊護送擬由商駝內酌量收費以資補助請飭商會遵照等因到府當經報告本府第八十次例會決議保護商旅有該旗應負責任惟自該旗擬收此款以來迭據商民呈請取銷所請令飭商會之處碍難照准並希停止抽捐以恤商艱等因相應照會 貴盟長查照此照會 烏盟盟長

內蒙鄂托克旗已由綏區設治

綏遠省政府增設沃野設治局

派高俊爲局長整頓鹽池鹹湖

塞北通訊內蒙伊克昭盟境地屬於綏遠省中該盟有稱曰鄂托克山川險要物產豐富迭誌本報前者寧夏擬在該旗設治因區域關係綏遠早有計劃經幾次會議決在該旗增設沃野設治局已派高俊前往（前往就道）一面向該旗清理債務一面整頓所有鹽池鹹湖因該旗所產鹽鹹甚稱著名因官廳向無統籌全局

辦法以致地利拋棄李主席（培基）幾經提案由討論之結果除派高俊限日前往外並照會鄂托克旗扎薩克茲誌照會如下

綏遠省政府主席李

爲照會事查本府前爲清理 貴旗債務起見擬將抵去鹽池城湖一律收回設法整頓一案業經照會 貴扎薩克查照在案嗣經調查間適據綏遠建設廳長兼墾務總辦馮曦呈擬在淘樂湖已墾地內增設沃野設治局當經呈奉閻總司令照准遵卽飭據民政廳擬定設治辦法暨組織大綱提經本府第八十二次決議通過各在案查陶樂湖灘地業經放墾有年附近一帶人民漸增事務較繁現擬在該地方設治既經本府決議通過自應根據原案妥速進行茲派本府參議高俊前往 貴旗會商清理債項辦法並就近籌備設治事宜期於民生邊圉均有裨益除令委該員前往外相應照會 貴扎薩克查照俟該參議到旂時希卽妥爲接洽會商辦理並希曉諭所屬官民人等一體知悉務使明瞭本府此次派員意旨純爲蒙漢人民解除痛苦謀增利益起見毋得妄生誤會致碍進行是爲至要此照會鄂托克旗扎薩克

黨義常識問答

問……其他被壓迫民族未聞有民族主義的提倡而民族思想也很發達我們又何必提倡民族主義的呢

答……因為其他被壓迫民族都有民族思想所以不必再事提倡我們中華民族因為民族主義亡了已久所以不得不來提倡你看猶太民族他們的國家已經亡了二千多年了他們的民族主義還是存在我們中國民族兩次亡國只有三百多年就把民族主義完全亡了照這說來你看該不該提倡民族主義呢

問……我們中華民族主義既已亡了好久現在將如何去恢復他呢

答……我們現在要想恢復民族主義當分兩方面進行第一要把民族精神恢復第二要把民族地位恢復

問……怎樣恢復民族精神呢

答……我們要想恢復民族精神要有兩件工作第一是要使我們知道現在處於極危險的地位要曉得我們現在所處的地位世界列強無論何國均有滅亡我國的能力如今不過處於列強勢力均等之下故未滅亡暫延一息

綏遠蒙文半月刊徵求各盟旗新聞啓事

本刊以扶植各蒙旗促其自決自治爲職志並對於生產上擬加以充分的指導語曰衣食足而後禮義興生產既有根柢然後再以相當教育灌輸之務期完成訓政時期之工作爲目的自愧見聞不廣無從發揚尙期蒙漢有志之士與以援助藉光篇幅不勝感盼之至謹將徵求新聞簡例列後一，凡內外各盟旗所有新聞一律採納範圍如下（一）邊情（二）軍事（三）教育（四）畜業（五）商況（六）交通（七）鑛務（八）水利（九）墨政（十）赤禍一，應時新聞固所歡迎舊有著作亦事搜尋無論草稿或成冊一律採納一，關於上列稿件無論郵寄直送欲索原稿一概奉還決不失遺一，凡賜稿件篇幅長短任隨投稿者之便毫無限制體裁文言白話皆可蒙漢文合寫爲適宜一，隨意投稿作爲文字之交長期投稿贈以本刊一，投稿請逕寄綏遠小東街塞北通訊社同時乞投稿者註明住址姓名以便奉覆

卷之二

萬物之靈也。故曰：「天地萬物生於有，有生於無。」
天地萬物生於有，猶言萬象生於形而下者也。
萬象生於形而下者，猶言萬象生於氣也。
萬象生於氣，猶言萬象生於太虛也。
萬象生於太虛，猶言萬象生於無所有處也。
萬象生於無所有處，猶言萬象生於無所有者也。
萬象生於無所有者，猶言萬象生於無所有者也。
萬象生於無所有者，猶言萬象生於無所有者也。

了。那時我還沒有到過中國，但聽說中國人吃人，我心裏就害怕得要死。我常常在想：「我如果到了中國，我會不會被中國人吃掉？」我常常在想：「我如果到了中國，我會不會被中國人吃掉？」

の事ある事あらゆる事の事ある事

卷之二

卷之三

其一
其二
其三
其四
其五
其六
其七
其八
其九
其十

其一
其二
其三
其四
其五
其六
其七
其八
其九
其十

本多忠重の御子の忠利公が、元の名を忠重とし、
名前を改められたのである。忠利公は忠重の
名前をもつてゐる。

忠重は忠利の兄である。忠利の死後、忠重は
忠利の跡を継ぎ、徳川家康の側近として活躍す
る。忠重は忠利の死後、忠利の跡を継ぎ、徳川家
康の側近として活躍する。忠重は忠利の死後、忠
利の跡を継ぎ、徳川家康の側近として活躍す
る。

忠重は忠利の兄である。忠利の死後、忠重は
忠利の跡を継ぎ、徳川家康の側近として活躍す
る。忠重は忠利の死後、忠利の跡を継ぎ、徳川家
康の側近として活躍する。忠重は忠利の死後、忠
利の跡を継ぎ、徳川家康の側近として活躍す
る。

先づ

きのうはおまかせをすまし、おまかせをすましの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ

おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ
おまかせをすましの先づをすましの先づをすましの先づ

まことに、お見合ひの事は
おまかでござる。おまかでござる。
おまかでござる。おまかでござる。

見合

卷之三

はくはくの事はあらまじ。左の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。左の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。

左の方はまかでゆきまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。左の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。左の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。左の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。右の方はまかでゆきまく
まかのとこまくのあらまかく。

蒙古語文書卷之二
蒙古語文書卷之三
蒙古語文書卷之四
蒙古語文書卷之五
蒙古語文書卷之六
蒙古語文書卷之七
蒙古語文書卷之八
蒙古語文書卷之九
蒙古語文書卷之十
蒙古語文書卷之十一
蒙古語文書卷之十二
蒙古語文書卷之十三
蒙古語文書卷之十四

色空

の。の。の。

先達。近頃。

未だ。未だ。未だ。未だ。未だ。未だ。未だ。未だ。

卷之三

३८५

此之謂也。故曰：「知者不惑，仁者不憂，勇者不懼。」

多事之秋也。予嘗謂人曰。吾生平所好者。惟文而已。苟或問之。則曰。余好古文也。蓋其性所好。不以爲病。故能成此書。亦不知其幾矣。今聞此言。則知其不妄也。予嘗謂人曰。吾生平所好者。惟文而已。苟或問之。則曰。余好古文也。蓋其性所好。不以爲病。故能成此書。亦不知其幾矣。今聞此言。則知其不妄也。

၁၃၈၂

未だ多事あるが、少しあつて、其のまゝ未だ未だ
未だ未だ未だ未だ未だ未だ未だ未だ未だ未だ未だ

卷之三

卷之三

蒙古國王成吉思汗之子，世祖忽必烈之弟，平定西夏、征伐高麗，開拓疆土，建都燕京，創立元朝。其子懿璘哥，其孫也。

あゆむに そよぎの風を まかれて
ゆくは すなはちの まつりの まつり。
まつりあはれの まつりの まつり。

毛利

卷之三

其後有事。其事之急也。則其君臣。父子。兄弟。皆失其禮節。其事之緩也。則其君臣。父子。兄弟。皆失其禮節。其事之急也。則其君臣。父子。兄弟。皆失其禮節。其事之緩也。則其君臣。父子。兄弟。皆失其禮節。

卷之三

の如きは必ずしもあらゆる事に及ぶ。

其の事は、必ずしも、其の事は、必ずしも、
必ずしも、必ずしも、必ずしも、必ずしも、

必ずしも、必ずしも、必ずしも、必ずしも、
必ずしも、必ずしも、必ずしも、必ずしも、

必ずしも、

夷道

の事の如きの爲めに又さうの多様な沙汰をもあつた。して漢人の中には日本は
日本より遙かに優れてゐるが、その點で漢人の中には日本を羨む
もの、日本人のうちでも日本を羨むもの、日本を喜んでゐるが、その點で
日本人の中には日本を喜んでゐるが、その點で日本人の中には日本を羨む
もの、日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの
日本人の中には日本を羨むもの、日本人の中には日本を羨むもの

卷之二

あき。

とては身事。身事は身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。
身のままである事。身のままである事。身のままである事。

おまえさんをうながすと、おまえさんもおまえさんをうながす。
おまえさんをうながすと、おまえさんもおまえさんをうながす。

卷之二

子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。
子之不見如雲兮。其誰能與。子之不見如雲兮。其誰能與。

の事より是れが多事を失ふ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。
事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。事あらむ事無くす。

返事

まことに御心地の所思はす。間違ひの事無く、お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。
お詫び申す。この後、お出で下さい。お出で下さる事は幸いです。

是れより

6

子雲之賦，蓋有風氣，其子叔政、玄卿，

(१)

卷之二

はすかにまたまちをすくひのうちのまへにあつた。くわんと見
るといはれども、そのまへにあつてゐるから、だんだんと
あがむふるはづく。まへにあつてゐるから、だんだんと
あがむふるはづく。

通事

國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。
我國人之言。我國人之言。我國人之言。我國人之言。

三

命の事もあれば、のまゝ、多うもあらずと喜んでいた
とき、おまえが死んでしまった。おまえの死は、おまえ
の死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。
おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。おまえの死だ。

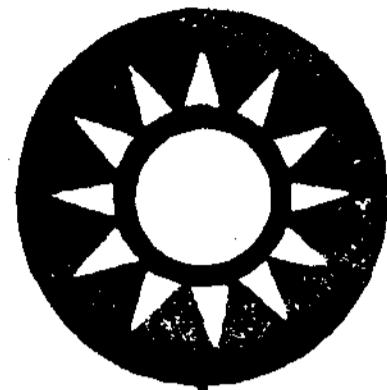
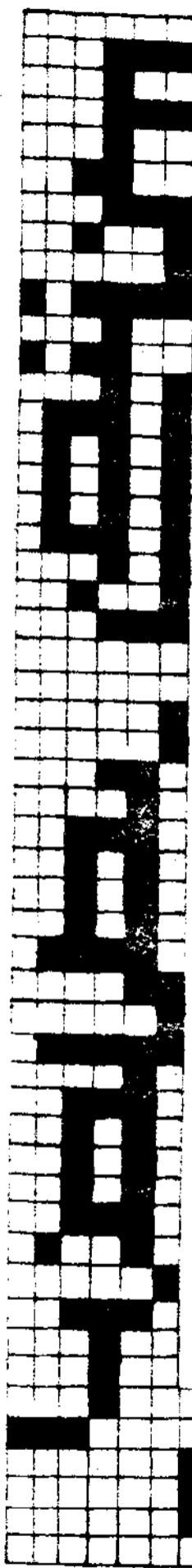
卷

はあくまでもおまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。
おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。おまかせの事だ。

おまかせ

おまかせ

其事也。故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」
故其子曰：「吾父之子，其名也。」



革命尚未成功
同志仍需努力

革命尚未成功
同志仍需努力